

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2002-59436(P2002-59436A)

【公開日】平成14年2月26日(2002.2.26)

【出願番号】特願2000-248552(P2000-248552)

【国際特許分類第7版】

B 2 9 C 39/10

B 2 9 C 39/26

G 0 2 B 3/00

G 0 2 B 3/08

// B 2 9 L 11:00

【F I】

B 2 9 C 39/10

B 2 9 C 39/26

G 0 2 B 3/00 A

G 0 2 B 3/08

B 2 9 L 11:00

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月6日(2004.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レンズパターンが形成された円筒形レンズ型のレンズパターン形成面と透光性基材との間に活性エネルギー線硬化性組成物を注入し、透光性基材と円筒形レンズ型の間に活性エネルギー線硬化性組成物が挟持された状態で活性エネルギー線を照射して活性エネルギー線硬化性組成物を硬化し透光性基材の一方の面にレンズを形成するレンズシートの製造方法において、透光性基材が活性エネルギー線硬化性組成物を介して円筒形レンズ型に接している状態で透光性基材に張力を付与するとともに、付与される張力に応じて円筒形レンズ型のレンズパターンのピッチをあらかじめ補正しておくことを特徴とするレンズシートの製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決させるための手段】

本発明者等は、このような状況に鑑み、レンズシートの製造過程で生じる透光性基材の収縮に注目し、この収縮によるレンズピッチのずれを透光性基材に付与する張力の制御と、この張力に応じたレンズ型でのレンズピッチの補正を行うことにより抑止し、極めて高精度のレンズピッチの制御を行うことができることを見出し、本発明に到達したものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

【発明の効果】

本発明は、レンズシートの製造過程で生じる透光性基材の収縮によるレンズピッチのずれを透光性基材に付与する張力の制御と、この張力に応じたレンズ型でのレンズピッチの補正を行うことにより抑止し、レンズピッチの変動が少なく、レンズシート全体にわたって設計通りのピッチを有するレンズシートを提供できる極めて高精度のレンズピッチの制御を行うことができるレンズシートの製造方法を提供できるものである。